



幼児期の教育・預かり保育・よくあるご質問



幼稚園の紹介

幼児期の教育



「幼稚園」 それは学校教育のはじまり

幼稚園は学校教育法第22条に基づく学校です。と言っても机の前で、一日中お勉強をするわけではありません。「遊び」を通じて色々な体験をし、それが学びとなっていきます。先生は幼児教育者として子ども達の健やかな成長を支えています。現在では小学校生活にスムーズになじめるように、幼稚園と小学校の二つの「学校」が連携し、より豊かな教育環境を実現しています。

乳幼児期は、生きる力の "基礎"を育む重要な時期

子どもたちを目に見える部分でのみ比べてしまい「自分の子育ては大丈夫なのか...」と不安になる保護者の方は多いものです。ですが、乳幼児期の子に大切なのは、意欲的な取り組み、相手への思いやり、創意工夫といった「目に見えない力」を時間をかけて養っていくことです。この力こそが、人間としての「基礎」であり、小学校以降の、目に見える部分の成長へと繋がります。

「遊び」は「学び」

幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではありません。「遊び」という心も身体も動かす主体的な体験の中で、いつの間にか色々なことが自分の力でできるようになっていきます。「遊び」による想像、共有、協力の体験を、幼稚園では大切に育みます。先生たちは子供たちが遊びに没頭できるような環境を整え、遊びの中で、子供たち自身が答えを導き出せるように言葉掛けをしています。

預かり保育



我が家は共働きだから 幼稚園は...と 思われていませんか？

様々なライフスタイルのご家庭が増える中、幼稚園は保育時間の前後・長期休暇中の預かり保育の充実を図っています。(※園により異なります。)特に短時間の就労(パートなど)をお考えの場合、幼稚園は有力な選択肢となります。そして、保育を必要とされる方へも私立幼稚園が長年培ってきた幼稚園教育をお受け頂ける様変化してきました。

また、小規模保育所との連携も少しずつ始まり、2歳までは家庭的な小規模保育所で過ごし、そして3歳からは幼稚園+預かり保育によって、様々なニーズへお応え出来る環境が整って参りました。

よくある質問



Q1

幼稚園は「高い」の
ではありませんか？

これまで幼稚園は費用の負担が大きいというイメージがありました。しかしながら、幼児教育無償化により25,700円の全国平均の保育料が無償になり、さらにそれを超えた部分の保育料についても板橋区から補助金が支給され、現在では大幅に負担が軽減されています。

Q2

入園するには
どうすれば
いいですか？

Step1
園の情報を
集めましょう。

HPや資料請求、見学会などで園の情報を調べましょう。板橋区の私立幼稚園32園それぞれ工夫をこらした保育をしています。ご家庭の教育方針に合った園選びがとても重要です。

Step2
申込方法を
確認しましょう。

幼稚園には利用調整などはありませんので、直接、希望する幼稚園に申し込んで頂く事になります(一部、認定こども園保育部分を除く)。お申し込み方法は各園異なりますので、直接各幼稚園にご連絡頂いたり、説明会等にご参加頂ければと思います。尚、板橋区私立幼稚園協会では願書配布は10月15日以降、入園面接・手続きは11月1日以降から行うよう申し合わせております。

Q3

対象年齢は
何歳からですか？

基本的には3歳～5歳児が対象となりますが、入園の前年からプレ保育(親子教室・母子分離での教室)や満3歳児の保育を行っている園もございます。詳しくは各幼稚園にお問い合わせ下さい。

